



日本農業労災学会

Newsletter (JFAPR)
No.9(2018年9月1日)

日本農業労災学会
2018年度大会シンポジウム
概要報告

日本農業労災学会事務局
キリン社会保険労務士事務所
<http://jfapr.jp>

<Newsletter No.9をお届けします>

西日本豪雨に追い打ちをかける猛暑の中、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。本格的な夏がこれからも続くと思われませんが、体調管理にご注意いただき元気でご活躍されることを期待しております。

ニューズレターもしばらく間が空いてしまいましたが、第9号をお届けします。

第9号では、2018年5月18日(金)に東京農業大学世田谷キャンパスで開催されました日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会共催シンポジウム「農業労災事故防止技術・仕組み開発の新たなチャレンジ」の概要をお届けします。

なお、講演の詳細につきましては、講演者の許可をいただきPDF資料として皆様に読んでいただけるようにしました。また、総合討議の内容につきましても、後日概要をニューズレターでお知らせします。

シンポジウムの概要

日本農業労災学会 2018年度(第5回)シンポジウムの概要

日本農業労災学会は、2018年5月18日に「農業労災事故防止技術・仕組み開発の新たな

なチャレンジ」というテーマで第5回のシンポジウムを以下のように開催しました。

1. 開催日時：2018年5月18日（金）10：00～17：00
2. 会場： 東京農業大学世田谷キャンパス横井講堂
3. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会3研究部会
（労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会）
4. 後援団体：全国農協中央会、全国農業協同組合連合会、全国共済農業協同組合連合会、
日本農業新聞、全国厚生農業協同組合連合会、東京都農協中央会、JA 東京む
さし、JA 世田谷目黒

<開催趣旨と討議内容>

これまで日本農業労災学会では、ヒューマニズムの視点から農作業事故防止のための課題と労災マネジメント、労災補償対策の在り方を解明するとともに、農業労災事故撲滅に果たす自助、自助を支える JA 組織、農業労災コンサルタント、農業機械士、社会保険労務士、医師などの共助、自助・共助の活動を支える国・県・市町村などの公助の連携の在り方等について論議してきた。

2018年度は、これまでのシンポジウムの成果を受け継ぎながら、農作業事故防止につながる最新技術に関する研究成果に焦点を当てるとともに、それらの成果を組織的に活用する主体として期待される JA や社労士の活動方向について論議を深めることを目指し、統一テーマを『農業労災事故防止技術・仕組み開発の新たなチャレンジ』に設定した。今回のシンポジウムでは、農作業事故を撲滅するためには、営農組織ならびに個々の経営者の問題意識を高めて自助を促す運動論的な活動だけでなく、最先端の技術成果を自助・共助・公助が連携して組織的に活用することが不可欠であるという基本認識に基づき、農業労働災害防止に貢献できる最先端の技術開発、防止システムの開発に取り組んでいる研究者、実務家さらには昨年に引き続き日本農村医学会との連携を強化するために方策に視点を置いて論議を行った。

具体的には、IoT、AI、ロボット技術などの成果の最前線を農作業事故防止の視点から学ぶとともに、人間工学や医学的な視点から実践的な農作業事故防止方策の取り組みについて議論した。また、それらの先端技術の成果を受け入れた農作業事故防止のための GAP の推進、JA や社労士の組織的な取り組みについても論議ができた。

シンポジウムのプログラムは、以下のとおりである。

<プログラム>

1. 主催者挨拶：学会会長・門間敏幸（東京農業大学名誉教授）
2. 座長解題：北田紀久雄（東京農業大学国際食料情報学部教授）
 入院重宏（キリン社会保険労務士事務所・所長）
3. 基調報告
 第1報告 農業ロボット技術による農作業事故防止の可能性
 長坂善禎（農研機構東北農業研究センター生産基盤領域作業技術グループ長）

第2報告 農業情報技術による農作業事故防止の可能性

—危険個所接近警戒アプリの開発—

手島 司（農研機構農業技術革新工学研究センター労働・環境工学研究領域安全人間工学ユニット主任研究員）

第3報告 日本農業労災学会監修翻訳ILO『Ergonomic checkpoints in agriculture』

農業における人間工学的チェックポイント—農業における安全改善、健康改善、労働環境改善のための実践的・実行しやすい解決法』に見る効果的な事故防止対策について

田島 淳（東京農業大学地域環境科学部教授）

第4報告 人間工学から考える農作業事故防止の方策

菊池 豊（農研機構農業技術革新工学研究センター労働・環境工学研究領域労働環境技術評価ユニット長）

第5報告 農村医学の視点から見た農作業事故防止の方策

大浦 栄次（富山県農村医学研究所主任研究員・日本農村医学会会員）

第6報告 農協組織における実践的な事故防止対策

—大分県JAグループの労働保険事務組合の取り組みを中心に—

兼高 秀樹（大分県農協中央会担い手支援部主任）

第7報告 社労士からの実践的な農作業事故防止対策の提言

矢島 友幸（矢島社会保険労務士事務所・所長）

4. コメント

コメンテーター

(1) 半杭真一（東京農業大学国際食料情報学部准教授）

(2) 宮永均（JA はだの専務理事）

(3) 松岡公明（農林年金理事長）

5. 全体討論

6. 座長総括 16:35～16:45

7. 個別報告

農作業による死亡の推測—労災データベースと人口動態統計による検討

山本 秀樹（帝京大学大学院公衆衛生学研究科保険政策・国際保健分野 教授）

会員の皆様へのお願い

会員の皆様の本会「Newsletter」への積極的な投稿をお待ちしております。原稿は、郵送、ファックス、メール等で学会事務局にお送りいただければ幸いです。特にJAにおける農作業事故防止に関するユニークな取り組みや実践事例、社会保険労務士事務所による研修や事故防止活動事例などの応募を期待しております。

なお、シンポジウムの当日に配布されました資料につきましても、会員限定でダウンロードして参照できるようにします。なお、これらの資料を引用する場合は、出典の明記をお願い致します。

E-mail : kuroda@kirin-office.com FAX : 042-316-6430